福島経済マンスリー

5月の県内経済は、生産活動が厳しい状況にあるものの、全体では持ち直しの動きが強まっている。

1．平成25年5月の県内経済

項　　目	コ　メ　ン　ト	景況判断	
		変化方向	水　準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動が前年を下回る水準で推移しているものの、全体では公共投資や設備投資、住宅投資を中心に持ち直しの動きが強まっている。	⇨	
消費動向	大型小売店販売額は、百貨店が前年を下回ったものの、スーパーが前年を上回ったため、2ヵ月ぶりで前年比で増加した。一方、新車登録台数は、2ヵ月ぶりで前年を下回った。	⇨	
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が7ヵ月連続で前年を下回ったが、請負金額と保証金額は22ヵ月連続で前年を上回った。	⇨	
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が前年と変わらなかったが、床面積が4ヵ月連続、工事費予定額が8ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。	⇧	
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家が4ヵ月ぶり、分譲が9ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回ったものの貸家が9ヵ月連続で前年を上回ったことから、合計でも9ヵ月連続で前年を上回った。	⇨	
生産活動	鉱工業生産指数は、5ヵ月ぶりで前月を下回り、11ヵ月連続で前年を下回った。	⇨	
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を上回り、原数値が前年を上回った。一方、雇用保険受給者実人員は前年を下回った。	⇨	

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（⇧：改善、⇨：不変、⇘：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は4月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴　れ	晴れ一部曇り	曇　り	曇り一部雨	雨

良　い　←　　→　悪　い

2．県内経済動向の概要

(1)　前年同月比

（単位：%）

	項　　目	前　年　同　月　比					
		24年12月	25年1月	2　月	3　月	4　月	5　月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	6.7	0.9	3.4	8.5	▲ 0.1	0.9
	乗用車新車登録台数	8.2	▲ 0.5	▲ 5.5	▲ 6.9	1.8	▲ 5.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	87.6	52.4	83.6	70.4	373.8	20.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	23.9	147.1	9.9	88.5	203.3	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	41.8	3.8	106.2	66.2	17.7	11.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	▲ 5.6	▲ 7.0	▲ 12.5	▲ 7.1	▲ 9.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.47	0.45	0.41	0.36	0.29	0.27
	雇用保険受給者実人員	▲ 46.2	▲ 35.2	▲ 28.4	▲ 18.9	▲ 6.6	▲ 2.1

注1　原指数

(2)　前月比

（単位：%）

	項　　目	前　月　比					
		24年12月	25年1月	2　月	3　月	4　月	5　月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	27.5	▲ 19.2	▲ 10.6	15.2	▲ 7.5	2.6
	乗用車新車登録台数	▲ 21.2	25.3	11.3	58.8	▲ 43.8	▲ 1.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	16.4	▲ 44.0	31.4	139.9	44.5	▲ 68.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	0.2	26.6	▲ 40.8	100.8	19.0	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	▲ 21.7	▲ 13.2	32.1	1.5	▲ 0.09	▲ 14.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注2	5.0	0.6	0.6	0.8	▲ 4.5	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注2	0.08	0.05	▲ 0.01	▲ 0.01	0.00	0.02
	雇用保険受給者実人員	▲ 4.0	6.5	▲ 4.8	▲ 0.03	6.5	13.4

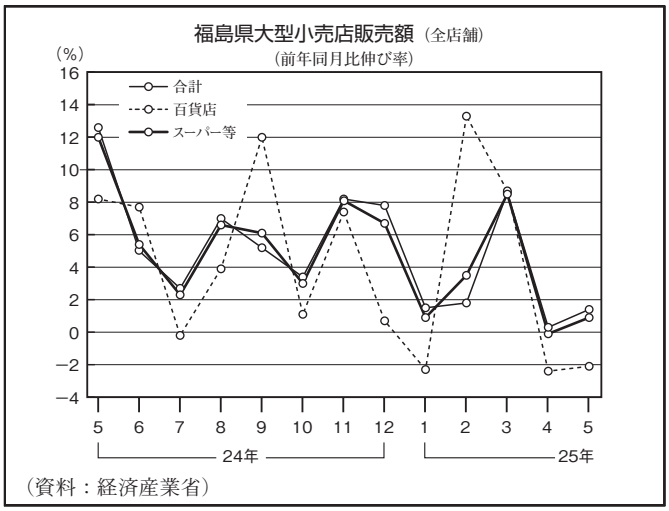
注2　季節調整値

3．県内経済動向

消費動向

大型小売店：２ヵ月ぶりで前年比増

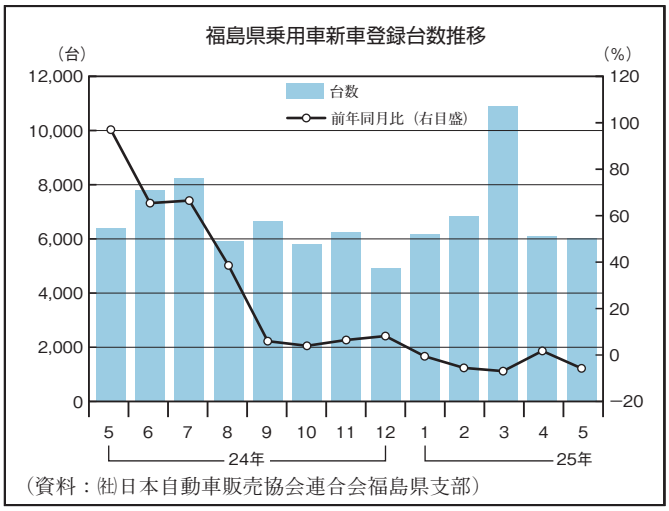
５月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で198億１百万円（前年同月比＋0.9％）と２ヵ月ぶりで前年を上回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことから、合計では前年比△2.1％となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同＋1.4％となった。



（資料：経済産業省）

乗用車販売：２ヵ月ぶりで前年比減

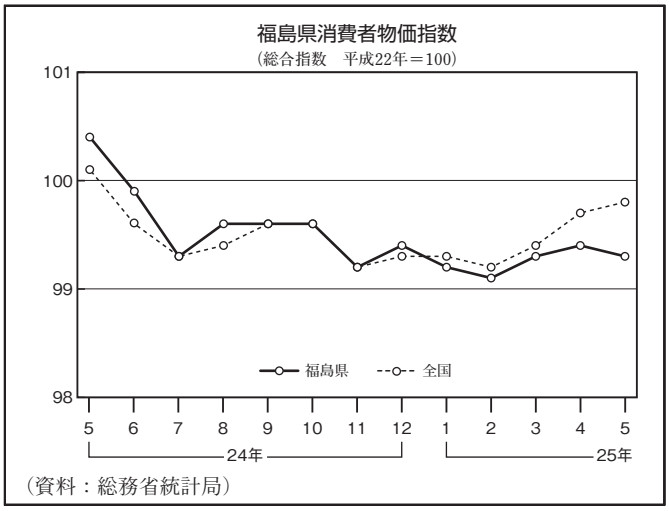
５月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,017台（前年同月比△5.7％）となり、２ヵ月ぶりで前年を下回った。車種別でみると、普通車は1,769台（同△4.1％）と２ヵ月ぶり、小型車は1,892台（同△13.5％）と５ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。一方、軽乗用車は2,356台（同＋0.4％）と20ヵ月連続で前年を上回った。



（資料：㈳日本自動車販売協会連合会福島県支部）

消費者物価指数：前月比で0.1％減

５月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年＝100）でみると、99.3と前月比で△0.1％、前年同月比で△1.1％となった。費目別にみると、「光熱・水道」の107.3（前月比＋0.8％）など４費目が前月比で上昇したが、「教養娯楽」の91.2（同△1.0％）など５費目が前月比で下降した。

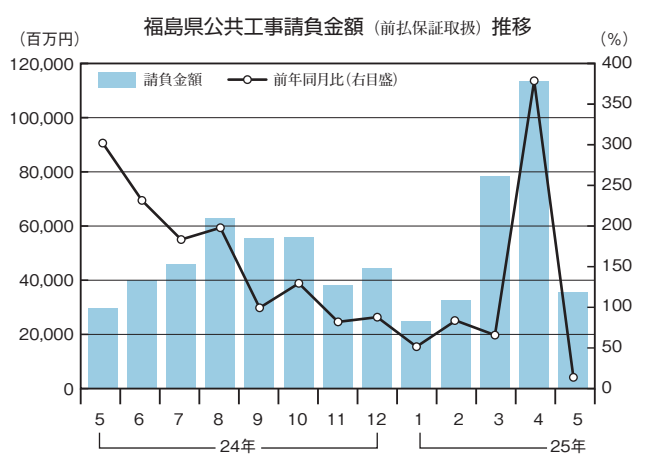


（資料：総務省統計局）

公共投資

公共工事：請負額は22ヵ月連続で前年比増

5月の公共工事前払保証取扱は、件数が438件（前年同月比△7.2%）と7ヵ月連続で前年を下回った。一方、請負金額は354億39百万円（同＋20.0%）、保証金額は163億66百万円（同＋33.0%）となり、それぞれ22ヵ月連続で前年を上回った。

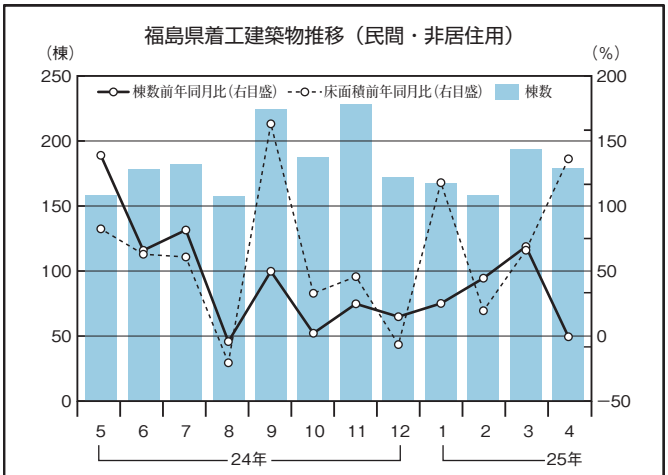


（資料：東日本建設業保証㈱）

設備投資

設備投資：工事費予定額が8ヵ月連続で前年比増

4月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が179棟（前年同月比＋0.0%）となり、工事費予定額が174億40百万円（同＋203.3%）と8ヵ月連続、床面積は106,441㎡（同＋136.7%）と4ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。

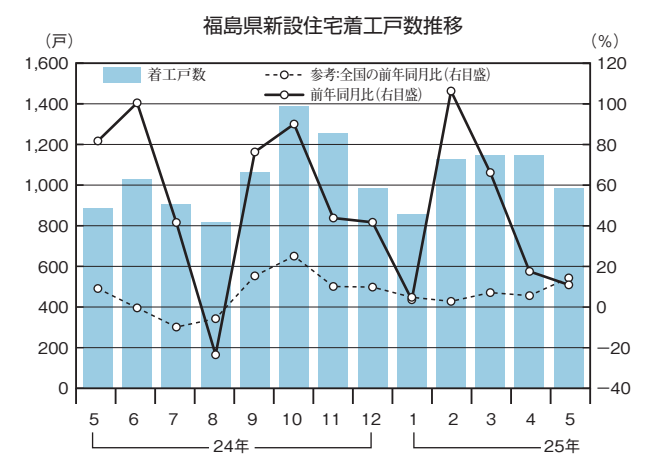


（資料：国土交通省）

住宅投資

住宅建設：9ヵ月連続で前年比増

5月の県内新設住宅着工戸数は、983戸（前年同月比＋11.1%）と9ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」は578戸（同△5.1%）と4ヵ月ぶり、「分譲」は25戸（同△44.4%）と9ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回ったものの、「貸家」は371戸（同＋61.3%）と9ヵ月連続で前年を上回った。



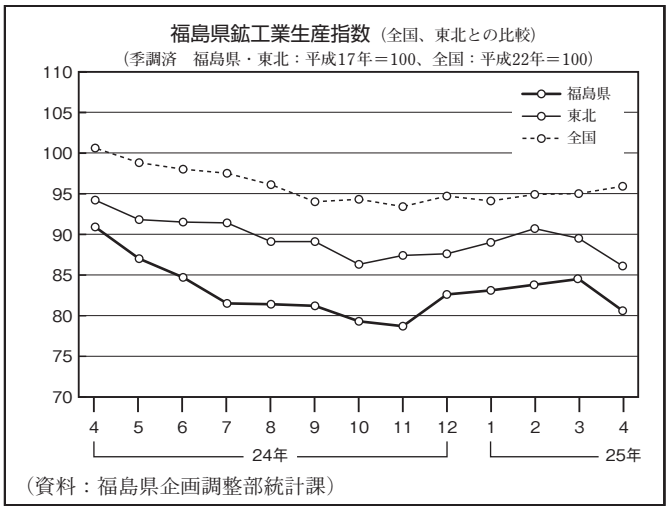
（資料：国土交通省）

生産活動

鉱工業生産指数：11ヵ月連続で前年比減

4月の鉱工業生産指数は、80.6（季節調整値）で前月比△4.5％と5ヵ月ぶりで前月を下回り、原指数は76.2で前年同月比△9.6％と11ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「非鉄金属」（前月比＋29.3％）など13業種で上昇し、「情報通信機械工業」（同△28.2％）など6業種で下降した。

※福島県では、調査対象企業のうち、震災の影響により調査できない約3％の企業の生産額は0として処理している。

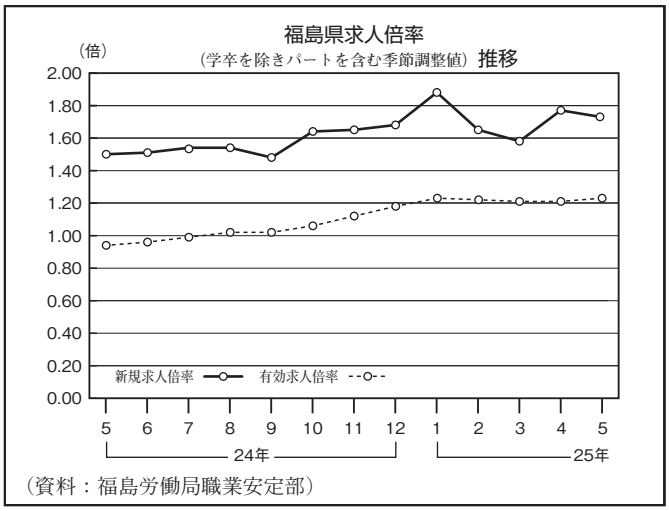


（資料：福島県企画調整部統計課）

雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は38ヵ月連続前年比増

5月の新規求人倍率は、季節調整値が1.73倍（前月比△0.04ポイント）、原数値が1.59倍（前年同月比＋0.20ポイント）となった。また、5月の有効求人倍率は、季節調整値が1.23倍（前月比＋0.02ポイント）、原数値が1.09倍（前年同月比＋0.27ポイント）と38ヵ月連続で前年を上回った。一方、5月の雇用保険受給者実人員は9,100人（前年同月比△2.1％）と15ヵ月連続で前年を下回った。

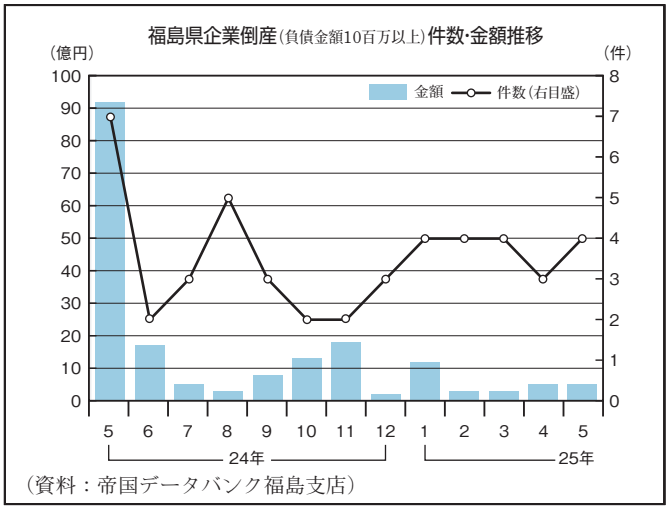


（資料：福島労働局職業安定部）

企業倒産

企業倒産：件数、金額とも前年比減

5月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が4件（前年同月比△42.9％）、負債総額が4億71百万円（同△94.9％）と件数が2ヵ月連続、負債総額が6ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。また、業種別でみると、建設業、運輸・通信業、サービス業、不動産業がそれぞれ1件となった。

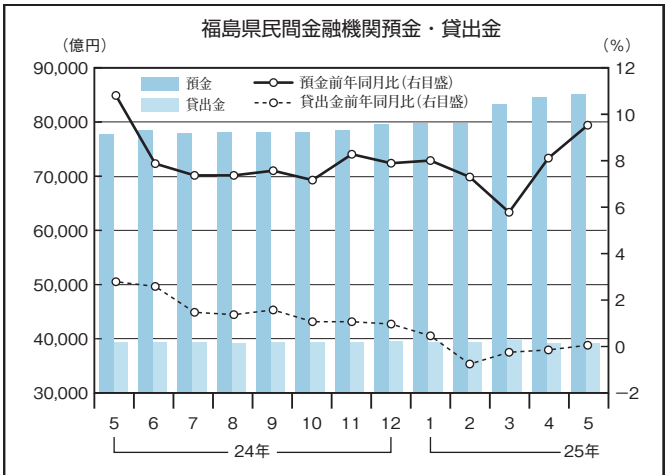


（資料：帝国データバンク福島支店）

金融動向

資金需給：預金は前年比増、貸出金は前年と変わらず

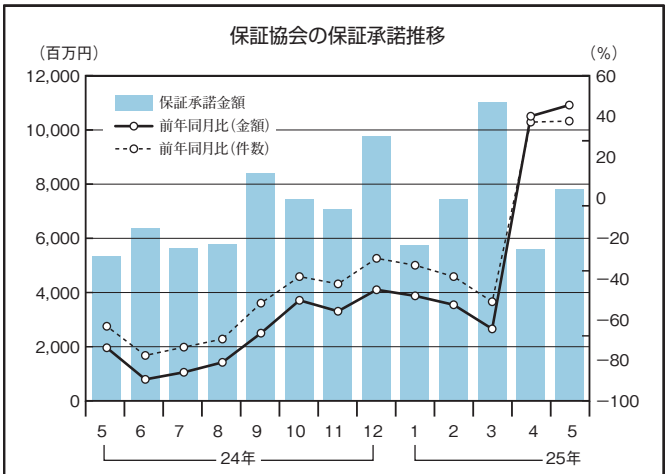
県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の５月末の預金残高は、８兆5,367億円（前年同月比＋9.7％）と75ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、３兆9,218億円（同0.0％）で前年と変わらなかった。



（資料：日本銀行福島支店）

保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

５月の保証承諾は、件数が795件（前年同月比＋38.0％）、保証金額が77億95百万円（同＋45.9％）となった。また、５月末日現在の保証債務残高は、件数49,161件（同△2.9％）、金額4,619億48百万円（同△9.3％）となった。一方、５月中の代位弁済は、件数が34件（同△5.6％）、金額が３億８百万円（同＋44.2％）となった。



（資料：福島県信用保証協会）

４．業種別動向

消費動向

家電量販店　５月の家電量販店の売上高は、タブレットやスマートフォン、エアコンの売上が前年を上回ったものの、テレビやDVDプレーヤー、PCなどの落ち込みが大きく、合計では前年を15％程度下回った。

ホームセンター　５月のホームセンターの売上高は、飲食料品などを中心に前年を上回り、合計でも前年をわずかに上回った。

旅行　４月の旅行取扱額は、一部企業の好業績を反映して国内、海外旅行とも団体向けの需要が旺盛となり、合計でも高水準だった前年並みの実績を確保した。

高速道路　５月の県内自動車道出入台数は、合計で5,127,797台（前年同月比＋8.5％）と２ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,797,036台（同＋7.4％）、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は457,496台（同＋4.2％）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は720,272台（同＋11.9％）とそれぞれ２ヵ月連続で前年を上回った。また、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,152,993台（同＋10.9％）と11ヵ月ぶりで前年を上回った。

福島空港　５月の福島空港国内定期路線の利用状況は、20,203人（前年同月比＋12.1％）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は8,320人（同＋8.4％）、大阪便は11,883人（同＋14.9％）となった。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学　５月の食品包装フィルム用合成樹脂は、円安効果が生産活動にはまだ波及せず、新興国の需要にも回復がみられないものの、欧州の需要に底打ち感がみられ始めたことなどから、総体では前年並みの生産水準となった。

鉄鋼・金属　５月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が東南アジアや米国の需要が回復してきたことなどから、前年比で10％程度増加した。一方、半導体向け電子材は、低調な欧州経済の影響や新興国の製品との競合などから、前年を10％以上下回った。建機用鋳造品は、中国を中心に海外からの受注が減少したことから、合計で前年を50％以上下回る生産となった。陸舶用バルブは、短納期の受注が一服したものの、前年並みの生産水準を確保した。

輸送用機械　５月の鋳造品は、トラック向けではインドネシアの受注減少が続いているものの、タイが堅調だったことなどから、合計では前年並みの生産となった。また、カーナビおよびカーオーディオは、米国向け新製品の受注増により、合計では前年を10％ほど上回る生産となった。さらに、オイルシールは、中国や東南アジアの需要が上向いてきたことなどから、前年をわずかに上回る生産となった。

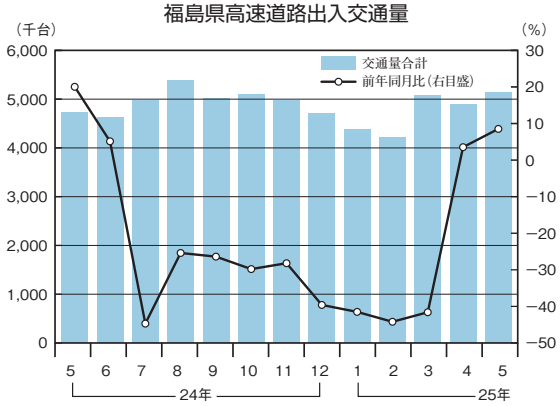
電気機械　５月の電気機械の生産は、誘導炉が前年を大きく下回ったものの、配電盤や変圧器、モーターが前年をわずかに下回る程度だったことから、合計では前年比で約10％減にとどまった。

情報通信機械　５月の情報通信機械は、マイクロ波通信機器などの無線通信機器でインドを中心とした海外からの受注が減少しているものの、国内向けモバイル基地局の生産が堅調だったことなどから、合計では前年を30％以上上回る生産となった。

電子部品・デバイス　５月のLSI（大規模集積回路）の生産は、産業機器向けが前年を上回ったものの、半導体の需要が依然として低調なことなどから、合計では前年を10％以上下回った。

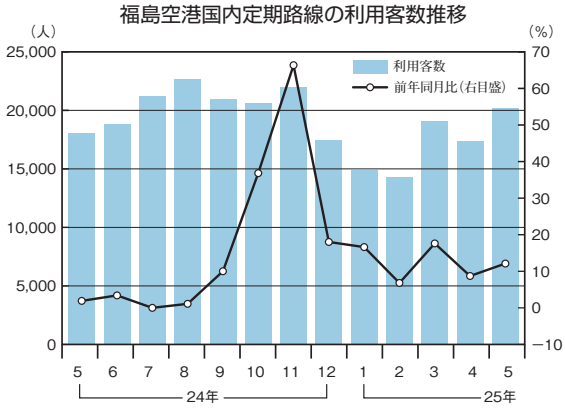
精密機械　５月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なこと

福島県高速道路出入交通量



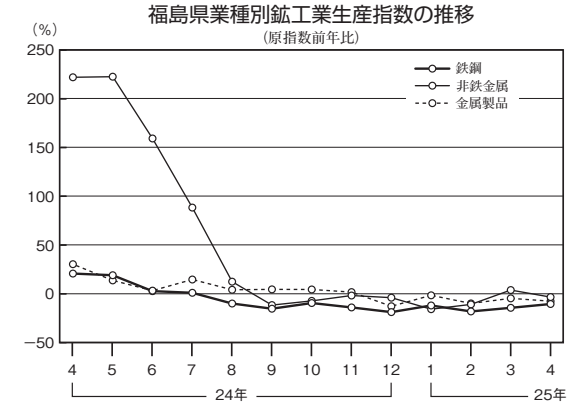
（資料：東日本高速道路㈱東北支社）

福島空港国内定期路線の利用客数推移



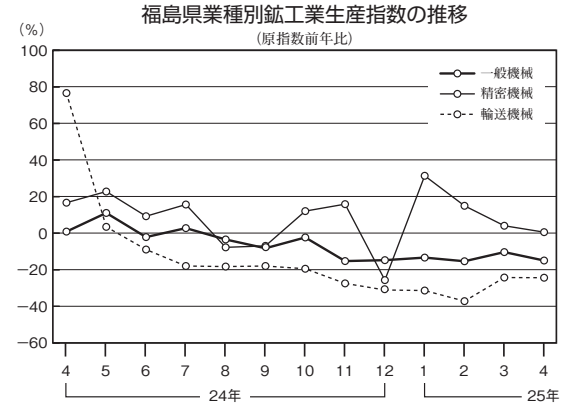
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

から、合計でも前年を20%ほど上回る生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、新製品の増産や国内およびアメリカの需要が上向いてきたことなどから、前年並みの生産となった。

紙・紙加工品　5月のノーカーボン紙および感熱紙、インクジェット紙とも、円安により輸入品が割高となっていることなどもあり、需要が上向いていることから、前年を10%以上上回る生産となった。

窯業・土石　5月の生コンクリート出荷量は、全体で146,157㎥（前年同月比＋36.9%）と22ヵ月連続で前年を上回った。民需・官公需別にみると、民需は、相双地区が原子力発電所保安対策工事、白河およびいわき地区が工場新設工事などにより、前年を上回ったものの、残り3地区が前年を下回ったことから、合計では前年比で△0.7%となった。一方、官公需は、いわき地区の岸壁復旧工事や災害復旧工事、相双地区の海岸保全施設整備工事など、会津と県北を除く4地区が前年を上回り、合計では同＋64.9%となった。

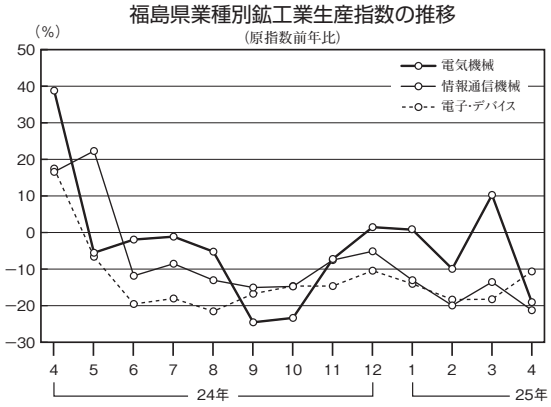
清酒　5月の清酒移出数量は、1,006kℓ（前年同月比△1.3%）と14ヵ月連続で前年を下回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が435kℓ（同＋8.0%）と2ヵ月連続で前年を上回ったが、一般酒（特定名称酒以外の酒）が570kℓ（同△7.3%）と14ヵ月連続で前年を下回った。

化合繊織物　5月の化合繊織物は、単価の低い製品の割合が依然として高いことから、金額ベースでは前年を20%以上下回る生産高となった。

ニット　5月のニットは、秋冬のサンプルと製品の生産となり、生産額でみると前年比で10%程度の減少となった。

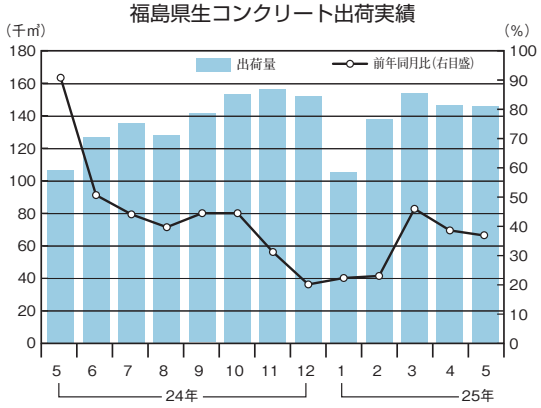
大口電力　5月の大口電力販売量は、448百万kw/h（前年同月比△13.1%）と10ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で92百万kw/h（前年同月比△35.9%）、「電気機械」で71百万kw/h（同△8.2%）、「輸送用機械」で50百万kw/h（同△3.5%）、「化学」で46百万kw/h（同△6.1%）、「一般機械」で23百万kw/h（同△0.8%）、「紙・パルプ」で19百万kw/h（同△31.8%）となっている。

福島県業種別鉱工業生産指数の推移



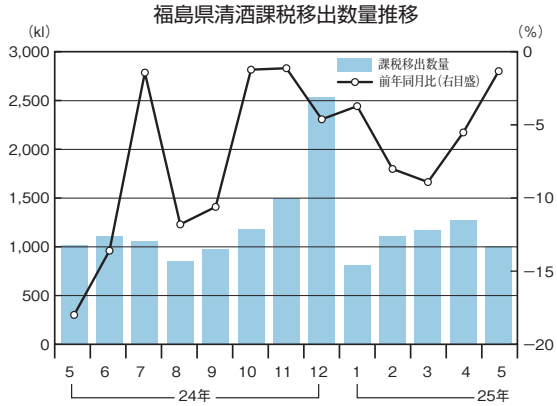
（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県生コンクリート出荷実績



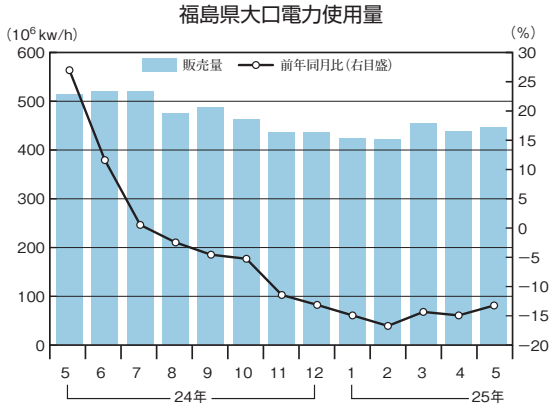
（資料：福島県生コンクリート工業組合）

福島県清酒課税移出数量推移



（資料：福島県酒造組合）

福島県大口電力使用量



（資料：東北電力福島支店）